

## 浜坂高「連携型中高一貫教育校」

# 26年度移行へ協議開始

新温泉町教委

新温泉町議会は4日に12月定例会を開会し、会期を24日までの21日間と決め、4議員が一般質問を行った。この中で、町内唯一の高校である浜坂高の「連携型中高一貫教育校」について町教委は、2026年度の移行を目指して協議を始めたことを明らかにした。中村茂議員の質問に答えた。

町教委の山本真教育長は「中学と高校の先生同士での協議も進めている。将来的には地域づくりを担ってくれる人材を育てたい」と話した。

町内の中学3年生のうち約半数が、浜坂高への進学を希望しているという。同校では、地域の課題解決を自分たちで考える探究授業を推進。本年度は生徒のアイデアから、JR浜坂駅前にチャレンジショップのバス待ちカフェ「TOMOS HIBI（トモシビ）」の開設につながった。

（岡村博）

町教委は先月、浜坂中と夢が丘中の両校区で、保護者などを対象に説明会を開催。中高一貫校のイメージが先行したが、議論の一時中断もあり、保護者に十分浸透していない部分もあったという。

町教委によると、中学と高校のカリキュラムを一本